

タイトル!! 『汐製菓会社の新作 47
羊羹 2』

登場人物

・ 汐（しお・30代）

汐製菓会社の社長。モットーは「面白
きことも無き世を面白く」。大胆かつ
奇抜な発想で、常識を覆す商品を
次々に打ち出す。

・ 塩田（しおた・30代）

汐の秘書であり右腕。慎重で真面目
な性格だが、心の奥底では汐の奇抜な
アイデアにワクワクしている。

・ 開発部スタッフたち

汐製菓の開発チーム。社長の無謀な
アイデアに毎回苦しめられているが、最
終的には妙な形で成功する。

・ 国内外のバイヤーたち

国内外から集まったバイヤー。外国人は片言の日本語でコミュニケーションをとり、試食会で意外な反応を見せる。

第一幕…社長の突飛なアイデア（15分）

シーン1…汐のアイデアひらめき（約5分）

（シーン2…汐製菓の社長室。朝。汐が考え込んでいる。）

汐（独り言）何か…何か面白い新作が必要だ。羊羹…羊羹だ！だが、普通じゃダメだ…。そうだ！『マルゲリータピザ味の羊羹』だ！

（塩田が資料を持って入る）

塩田…社長、売上報告が…ん？何か考え事ですか？

汐…よし、決まったぞ。次の大ヒット商品だ。
『羊羹』だ！

塩田…（メモを取りながら）羊羹ですか。王道
ですね。抹茶や小豆で行く感じでしょうか？

汐…（自信満々）いや、違うんだ。『マルゲリー
タピザ味』の羊羹だ！

塩田…（動揺）…え？ピザ味…の…羊羹？社
長、それはさすがに…。

汐…そう！トマトの酸味とチーズの濃厚さ、
それにバジルの香り！これこそ、和と洋の融
合だ！

塩田…（困惑）でも…それは…普通の人が食べ
るのでしょうか？

汐…もちろんさ！塩田、世界は常に新しい味
を待っているんだよ！

塩田：（心の中で）ただだ…社長の無謀なアイデア。でも…（口に出して）わかりました、開発部に伝えておきます。

シーン2： 開発部でのミーティング（約10分）

（シーン2： 汐製菓開発部。スタッフたちが集まり、試作品を前に頭を抱える。）

開発スタッフA： まさか社長が「マルゲリータピザ味の羊羹」を作れって言うなんて…。

開発スタッフB： ピザと羊羹の相性なんて、どう考えても悪いだろ。トマトとチーズを羊羹につて…。

開発スタッフC： バジルの香りも羊羹に入れるんだよな？ いったいどんな味になるんだ？

（塩田が登場）

塩田… お疲れ様です。社長の指示で新作「マルゲリータピザ味の羊羹」を試作しているんですよね？進捗はどうですか？

開発スタッフA…(試作品を見せながら)試作はできましたけど、正直、味が…謎の領域に入っています。

塩田…(試食してみる)えっと…これは…(渋い顔をしつつ、なんとか飲み込む)社長は気に入ったんですか？

開発スタッフB…社長は「面白い」って言っていました。でも、味についてはあまり触れてない…。

塩田…(困惑)まあ…それが社長らしいですね。試食会に向けて、もう少し味を調整しましょうか…。

開発スタッフA…調整って…どうやればいいのかすらわからないけど、やるしかないか。

(スタッフたち、ため息をつきながら試作を続ける)

第二幕：試食会の波乱(30分)

シーン②：試食会準備と緊張感(約10分)

(シーン②：汐製菓本社、試食会会場の準備が進む)

塩田：(会場を見渡しながら)試食会、どうなるんでしょうか。国内だけじゃなく、海外のバイヤーも来てますし…。

開発スタッフA：まあ、これまでの社長のアイデアもぶっ飛んでたけど、なんだかんだ成功してきたから…今回も大丈夫だと信じましょう。

汐：(明るく登場)塩田、準備は整ったか？今日は世界が驚く日になるぞ！

塩田…(不安そうに)はい、社長…。でも、今回はちよつと…。

汐…大丈夫だって！「面白きことも無き世を面白く」、それが我々の使命だ！

(バイヤーたちが続々と入場してくる。海外バイヤーたちは片言の日本語で話す)

バイヤーA(アメリカ)…コンニチワ！ワタシ、ピザ…トクイデス！

バイヤーB(イタリア)…マルゲリータはイタリ
アの誇りです！それを羊羹にするなんて…。

塩田…(バイヤーたちを見ながら)あの…試食、楽しんでいただけるといいんですが…。

シーン④ 試食会の開始と混乱(約20分)

(シーン④…試食会が始まり、バイヤーたちに羊羹が提供される)

司会者…皆様、本日は汐製菓の新作発表会にお越しいただき、誠にありがとうございます。それでは、社長の汐よりご挨拶をいただきます。

（汐が登場）

汐…皆様、ようこそ！我々の新作『マルゲリータピザ味の羊羹』をお楽しみください。和と洋の融合、これこそが未来の和菓子です！

（バイヤーたち、ざわつく）

バイヤーA（日本）…羊羹って甘いものだよな？ピザ味って…？

バイヤーB（アメリカ）…ピザ？ヨーカン？ナンデ、ピザデヨーカン？

バイヤーC（イタリア）…マルゲリータを羊羹にするなんて許せない…でも…興味はある。

（羊羹が配られる）

塩田…(バイヤーたちに)どうぞ、お試しください。

(バイヤーたち、恐る恐る羊羹を口に運ぶ)

バイヤーA(日本)…これは…ピザなのか羊羹なのか…。なんだか不思議な味だ…。

バイヤーB(アメリカ)…アマイ？チーズ…デ、ナント…オイシイ？アマイケド、イイ！

バイヤーC(イタリア)…最初はありえないと思ったけど…この後味、何だかクセになるな…。

塩田…(驚きながら)まさか、ウケてる…？

第三幕…予想外の成功と次の挑戦(15分)

シーン5…成功の余韻(約10分)

(シーン5：試食会后、オフィスに戻る汐と塩田)

汐：ほらな、塩田。みんな気に入ってたろ？やっぱり俺のアイデアは最高なんだ！

塩田：(微笑みながら)正直、どうなるかと思いましたが、社長の読みが当たりましたね…。

汐：当然さ！次はカレー味のどら焼きだ！どうだ、塩田？

塩田：(ため息をつきながら)社長、少し休憩を取ったらどうですか？

汐：休憩なんていらない！「面白きことも無き世を面白く」だぞ！

塩田：(笑いながら)もう少しだけ、穏やかにお願いしますね…。

シーン6：次の挑戦へ(約5分)

(最後に、汐が新たなアイデアを語りながら、
シーンはフェードアウト)

汐…よし、次はもっと面白いのを考えるぞ！

終わり